

(6) 楽しみのうつりかわり

○ 正月

元日<sup>かんじつ</sup>に神社<sup>じんじゃ</sup>におまいりすることは同じですが、夜が明けないうちに行くことは、少なくなりました。さいもんかたり<sup>ものかたり</sup>（ふしをつけて物語を聞かせる人）や、人形<sup>ぎょう</sup>しばいの人たちが来ることもなくなりました。昔は若い人たちは、もちの食べくらべや力くらべをして楽しみましたが、今は、ドライブをしたり、テレビを見たり、ゲームを楽しんだり、楽しみがかわってきているようです。

○ ぼん

ぼんには、仕事<sup>しごと</sup>を休み、遠くはなれて住<sup>す</sup>んでいる人たちも生まれた家に帰り、先祖<sup>せんぞ</sup>の墓<sup>はか</sup>まいりをする<sup>むかし</sup>ことは、昔も今も変わりません。盆<sup>ぼん</sup>おどりは、今より昔の方がさかんだったようです。

○ まつり

伏黒<sup>すいうん</sup>の水雲神社、箱崎<sup>あたご</sup>の愛宕神社のおまつりは、今も大へんにぎやかです。伊達地区の昔の天王祭は、天王おけを売るために、東北各地からおけ屋さんが集まり、山車<sup>だし</sup>・屋台<sup>やたい</sup>もたくさん出て大にぎわいだったそうです。最近では、昔ほどではないですが、山車・屋台もでるようになり、にぎやかになりつつあります。

○ 旅行

地いきの人たちが、神社におまいりするために、お金<sup>かね</sup>をつみたてておき、旅行<sup>かてい</sup>することは、今も変わりませんが、今は、家庭<sup>しよくば</sup>や職場でのグループ旅行がさかんになりました。

○ そのほかの楽しみ

子どもたちの大きな楽しみであった紙しばい<sup>や</sup>屋さんのすがたは見られなくなりました。そのわけは、各家庭にテレビがいきわたったからです。このごろは、スポーツを楽しむ人がふえてきました。



水雲神社のおまつり



家庭バレーボール